

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月31日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691600110
法人名	有限会社 やわら
事業所名	グループホーム かな 秀棟
所在地	鹿児島県曾於市末吉町南之郷77-1 (電話) 0986-76-3723
自己評価作成日	令和4年3月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム敷地内は広々としていて日当たりもよく田畑や山々を望みながら静かでゆっくりとした時間の中で過ごすことが出来ています。  
季節の行事(花見、ちまき作り、餅つきなど)を大事にしながら一緒に取り組んでいます。  
日々の健康管理はもちろんのこと、訪問看護や協力医療機関との連携を密に行っており、いつでも相談できる環境にあります。終末期においてはご家族の要望に寄り添い 医療と連携しながらホームでの看取りにも取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年3月18日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

市街地から少し離れた宮崎県境の農村地帯に建てられたホームで近隣には、市森林組合やガソリンスタンド、住宅があり自然豊かで折々の四季を肌で感じられる環境に立地している。ホーム周辺は、木々が立ち並ぶのどかな雰囲気地元の方と散歩の時などに朝晩の挨拶を交わし、畑の作物を差し入れてくださる方もおられるなど日々の交流が続いている。

管理者や職員は、法人共通の介護理念に沿って利用者一人ひとりの思いや習慣などを大切に、その人らしく生きがいのある自由な暮らしの実現に取り組んでいる。開設以来、地域との関わりを大切に考え地域活動に参加したり、ホームの敬老会に地域の方の参加を依頼するなど相互に交流活動をしてきたが、現在は、コロナウイルス感染症予防のため自粛している。日常は、天候や利用者の体調を見ながらホーム敷地や集落を散歩して外出し気分転換をしている。

運営推進会議は、法人のグループホームと合同で開催しており、事前に利用者状況や事業所の取り組み状況などを文書で情報提供し、関係者から意見や提案などを聞き取り、出された意見も参考にして会議にて話し合いサービスの質の向上や業務改善などをおこない運営に活かしている。

重度化や終末期の対応については、「重度化した場合の対応に係る指針」を整備して契約時に利用者、家族の意思確認をおこなった上で、早い段階から主治医や関係機関と話し合い利用者や家族の望む最期が迎えられよう取り組んでいる。法人共通の指針は、今年度、見直しを予定している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念は職員会議や掲示物を通じて共有し実践に繋げている。	開設当初からの理念は法人共通の理念であり、パンフレットに掲載され事務室に掲示し職員の意識統一を図り、職員会議や申し送り時などに振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	運営推進会議での情報交換や認知症カフェへの参加等で交流に努めているが、日常的な交流はコロナ禍の影響もあり薄くなっているため努力していきたい。	いきいきセンターで開催される認知症カフェでの地域の方や民生委員などとの交流に参加しているが、地域との交流は自粛しており日常的な交流は出来ていない。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議を通じて認知症の理解や支援の方法を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の状況報告、家族の要望や行政、地域からの声を周知し反映している。	会議開催前に家族や行政、地域、など会議メンバーに事業所の取り組み状況やケアの状況などを情報提供し、その後意見を聞いている。会議は、同法人との合同開催にて実施、出された意見などはサービス改善や質の向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営に必要な相談を電話や窓口に出向く等連携を図っている。	市担当者とは、電話で情報交換したり、待機者情報を提供し連携を図っている。運営推進会議の開催前に、担当者と意見交換したり、ホームの運営やケアに係る相談などは随時おこなない相互に協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会を年2回設けている他、身体拘束委員会を3ヶ月に1回実施して身体拘束廃止について話し合いを行い会議等で周知している。	身体拘束等適正化を図るための指針を整備しており、3ヶ月毎の会議、年2回の勉強会にて知識や技術を研鑽しスキルアップを図っている。不適切な言動に対しては、その場で注意したり申し送りにて周知徹底している。また、職員会議などで意見交換し業務改善に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修を年2回設け学ぶ機会を設けている。外部研修にも今後は積極的に参加をしていきたい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会がないが今後内部研修や外部研修に参加し話し合いの場を設けていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前の面談にて特に料金については詳しく説明している。家族の意向や不安な事など出来るだけ多くの意見を聞き不安解消に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来られた際には、積極的に声を掛けるよう心掛けており、家族の思いを汲み取るよう努めている。利用者の意見は日常会話の中で得ている。	利用者の意見や要望などは、日々の暮らしのなかで、会話や表情、仕草、本人のサインなどから汲み取るようにしている。家族とは、窓越面会であるが、直接要望などを聞いてサービスに活かしている。家族会もあるが、現在は活動していない。管理者や職員は、家族との良好な関係性を築くよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は職員会議で拾い上げ主任会議等を通して代表に伝えている。	シルバー人材派遣職員や夜勤専任の職員を配し、31歳～74歳までの年齢層の職員がおり、本人の希望や勤務体系により適材適所で且つ働きやすい職場環境で勤務ができるよう職場環境を整備している。法人は、資格取得者に手当を支給するなど職員が生きがいや目標を持って職務に取り組めるよう支援している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の実績をみて給与などに反映するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が仕事に意欲が持てるようにコミュニケーションを図りながら個々にあった研修の参加の支援を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主催の会に参加して同業者との交流や意見交換を行いサービスの質の向上に努めたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には情報収集を行い本人把握に努めている。また可能な限り面会に出向き本人の状態や本人の思いを確認している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安や要望、思いを傾聴し関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族、本人を取り巻く関係者から情報収集を行い支援方法など検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	馴染みの関係を築き良き理解者になれるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出の際の支援や面会の際にはコミュニケーションに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は、感染予防の為窓越しでの対面、タブレットを活用した面会を実施している。コロナ禍でも家族との時間が過ごせるように努めている。	コロナ禍で、外出も控え面会は窓越しにて実施している。電話やタブレットを駆使した面会で本人に安心感を与えている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食卓やソファの配置には特に注意を払い利用者同士がトラブルなど起こさないよう媒介して支え合える関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も遠慮なく相談して頂くよう常々声かけを行うよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で汲み取るように努めている。把握に苦慮する方はカンファレンス等で検討を実施している。	職員は、利用者の暮らしぶりを見ながら本人の思いや意向を把握するように努めており、申し送りや職員会議、カンファレンスなどで情報を共有して本人本位のケアを図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や他サービス機関の関係者、馴染みの方々より情報収集を行い生活歴等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の健康管理は勿論の事、言動等細かい部分にも注意するように努めて異変に気付きやすくしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスは月1回実施、プラン内容の評価及び課題を検討、話し合っている。カンファレンスで出た内容は職員に周知しプランに反映するように努めている。	利用者ごとの担当職員がおり、毎月カンファレンスを開催しモニタリングを実施、申し送りや連絡帳を活用して情報共有に努めている。介護計画書は、電話で説明し面談して同意を頂き交付しているが、遠方の家族には郵送にて送り説明と同意を得ている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の状態が一目で分かるように個別記録を行っている。特に重要な情報は申し送る欄を設け情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の状況変化等に柔軟に対応できるように相談しやすい環境作りに努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	出来る限りの地域資源把握に努め、本人らしい暮らしが出来るように努める。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居相談の際に確認を行う等して、本人の病状に応じた医療が受けられるよう支援している。	協力医療機関や他科受診への外来受診は、すべて管理者などが対応しているが、准看護師の資格を所持した介護職員も数名おり健康管理が徹底されており、医療連携体制が構築され適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師の定期訪問に加え、状態変化時は随時相談を行い、速やかに受診できるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時、洗濯物補充時などには病棟看護師から状態確認するように努めている。GHで出来る治療の場合は訪問看護師と連携を図りながら安心して治療出来るように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約時に事前説明を行うが、終末期の段階と判断された場合は家族の意向を随時確認しながら医療と連携している。</p>	<p>管理者は、重度化した場合の対応に係る指針について見直しを計画・検討しているところである。今年も看取りを実施するなど経験が豊富にある。職員は、年1回看取りの研修会を開催したり、看取り終了後は全員で振り返りや意見交換をして反省や職員のメンタルケアに取り組み、次へのステップに役立てている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時、事故発生時の対応をその都度行っているが、今後外部からの応援を頂きながら実践力を身につけたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年間計画の中で昼夜想定避難訓練を消防協力のもと実施している。運営推進会議にて地域との協力体制に努めている。</p>	<p>コロナ禍で、消防署の立ち合いはなく年2回自主訓練を実施している。緊急連絡網には、地域の協力者であるガソリンスタンド経営者や民生委員などが入っている。居室入口に避難確認のプレートが掲示され、避難経路の確認や防災グッズを備えるなど日頃から防災意識を高めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	羞恥心に配慮。排泄の失敗や食事の食べこぼしの際の声掛けに注意を払っている。	失礼のない言動や対応に努め人格を否めたり、特にプライバシーを損ねるような言葉使いをしないように注意している。職員は、定期的に研修を実施し知識を習得している。居室環境や排泄、入浴介助ではプライバシーに配慮したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境や表情、声掛けを行いながら希望を表して頂いたり自己決定できるような方法を見つけたり努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態に応じて暮らして頂けるように努力している。無理強いせず、本人のペースに合わせた支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外部から散髪を依頼している。外出時など身だしなみに気配りしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえ等出来る作業を一緒に行っている。季節感を大事に旬の野菜を使ったり献立の工夫を行っている。	食事担当職員が交代で献立作成や調理などを実施しており、食事形態や嗜好を検討し行事食や特別食など提供している。利用者は食器洗いなどの能力に応じた手伝いをされ、職員と一緒に食事の準備から参加し一緒に食事を摂るなどして食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取には特に注意を行っており、飲まれない方には甘味をつけたり嗜好品などで対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日義歯を消毒したり、うがいが難しい利用者様には口腔用シートを使用し口腔内の衛生管理に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の状態に合わせたオムツやパットの使用を検討している。定期的に誘導や声掛けを行い失敗に繋がらないようにしている。	聴力障害の方は、ボードに排泄と分かるよう文章を書いて伝えている。利用者の排泄のパターンを把握して定時で誘導したり、本人の意思確認をおこないトイレで排泄ができるよう支援しているが、夜間はポータブルトイレを併用している方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取に心掛け、便秘傾向の方にはオリゴ糖や乳製品などで工夫してなるべく自然排便に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現在1日おきの入浴であるが、本人の要望や皮膚状態によっては毎日入浴の支援を行って清潔保持に努めている。	本人の希望や必要に応じて入浴を勧めるなどしているが、基本的に週3回程度は入浴を楽しんでもらっている。入浴剤を使用したり、入浴後の水分補給、皮膚疾患や乾燥肌などに軟膏塗布をしたりしてスキントラブルが起きないように支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具の調整や空間、照明など環境の設備や入眠前の声掛けに工夫を行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員が全て行っており、効能や副作用を理解し変化時は速やかに医療機関へ相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯量、新聞折りなど本人の力量に合わせ張り合いが持てるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩の要望があれば園外を散策したりして気分転換を図ったりしているが、現在、コロナの影響もあり日常的な外出支援の実施は控えている状況である。	日常は、ホーム周辺を散歩をしている。森林浴にもなり、地域の方々と挨拶を交わしたりと気分転換になっている。コロナ感染症拡大予防のため、外出は極力控えているが会話を増やしたり、レクリエーション活動を充実するなど工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持、自己管理している方はおらず、ご家族の方が金銭管理をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望により電話の支援を随時行っている。家族からの郵便物など届いた際は代読に努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>四季折々の飾りつけや季節の花を飾ったり、絵の得意な職員が似顔絵を描いて掲示している。音や明るさに等に配慮して意心地よく過ごせる空間に努めている。</p>	<p>ホームは、木造平屋造りでホールは広々として採光があり、空気清浄機を増やし感染予防対策をしている。季節の生花が飾られ、壁には利用者の作品が掲示されている。テーブルや椅子、ソファが配置されテレビ観賞をしたり、利用者が思い思いに過ごせるようソーシャルディスタンスを考慮した配置にして環境整備している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>少人数で座れるソファを設置するなどして利用者同士の空間作りを工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた寝具やタンス等を持参して頂いて落ち着いて過ごせる環境作りに努めている。</p>	<p>エアコン、ベッドが備え付けであるが、他は使い慣れた物を持ち込み安心して過ごせるよう配慮している。家族写真を飾ったり、携帯電話で家族との会話を楽しむ方もおられ、居室の住環境は思い思いで必要に応じて見直しをおこない居心地よく過ごしていただけるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>便所、お風呂の表示を行い入居者様が迷わずに行けるように工夫している。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない